

令和6年度第1回  
聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議資料

# 第3期聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略 の策定について

- (1) 第2期総合戦略について
  - ① 概要
  - ② 人口ビジョン及び人口動態
  - ③ 国総合戦略との関係性
  
- (2) 第3期総合戦略について
  - ① 第3期策定に向けた検討プロセス
  - ② 策定スケジュール
  - ③ 重点検討事項
  - ④ 策定の方向性と構成(案)

【参考】地域幸福度(Well-Being)指標について

聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議事務局

# (1) 第2期総合戦略について ① 概要

## 総合戦略とは

東京圏への人口の過度の集中を是正し、**地域の住みよい環境を整備**するとともに、少子高齢化による**人口減少に歯止め**をかけ、将来にわたって活力ある社会を維持していくため、**国と地方が一体となって取り組んでいるもの**。

2014年に制定された「まち・ひと・しごと創生法」により、地方公共団体において総合戦略の策定が努力義務とされ、本町では、2015年度に第1期(対象期間:2015～2019年度)、2019年度に第2期(対象期間:2020～2024年度)の総合戦略を策定している。

## 人口ビジョン

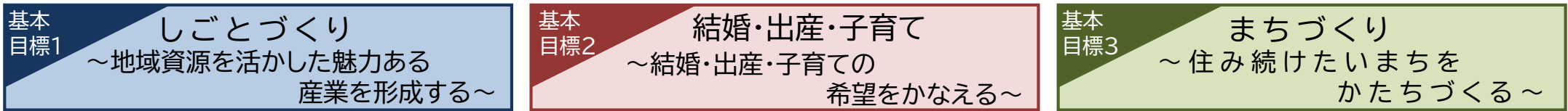
(「聖籠町 人口ビジョン2020 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」P27参照)

総合戦略の策定に当たり、「人口ビジョン」として40年後の目標人口を定めている。この目標人口の達成に向けて、子どもを産み育てやすい環境整備や、町外への転出抑制及び町外からの転入促進に資するしごとづくり・まちづくりを推進することが重要となる。

**2060年の目標人口 11,850人**

合計特殊出生率 1.92～1.95を維持  
(国立社会保障人口問題研究所の推計準拠)

## 総合戦略の基本体系



人口減少の抑制・地域活性化

**聖籠町人口ビジョン 2060年 11,850人**

## 推進体制

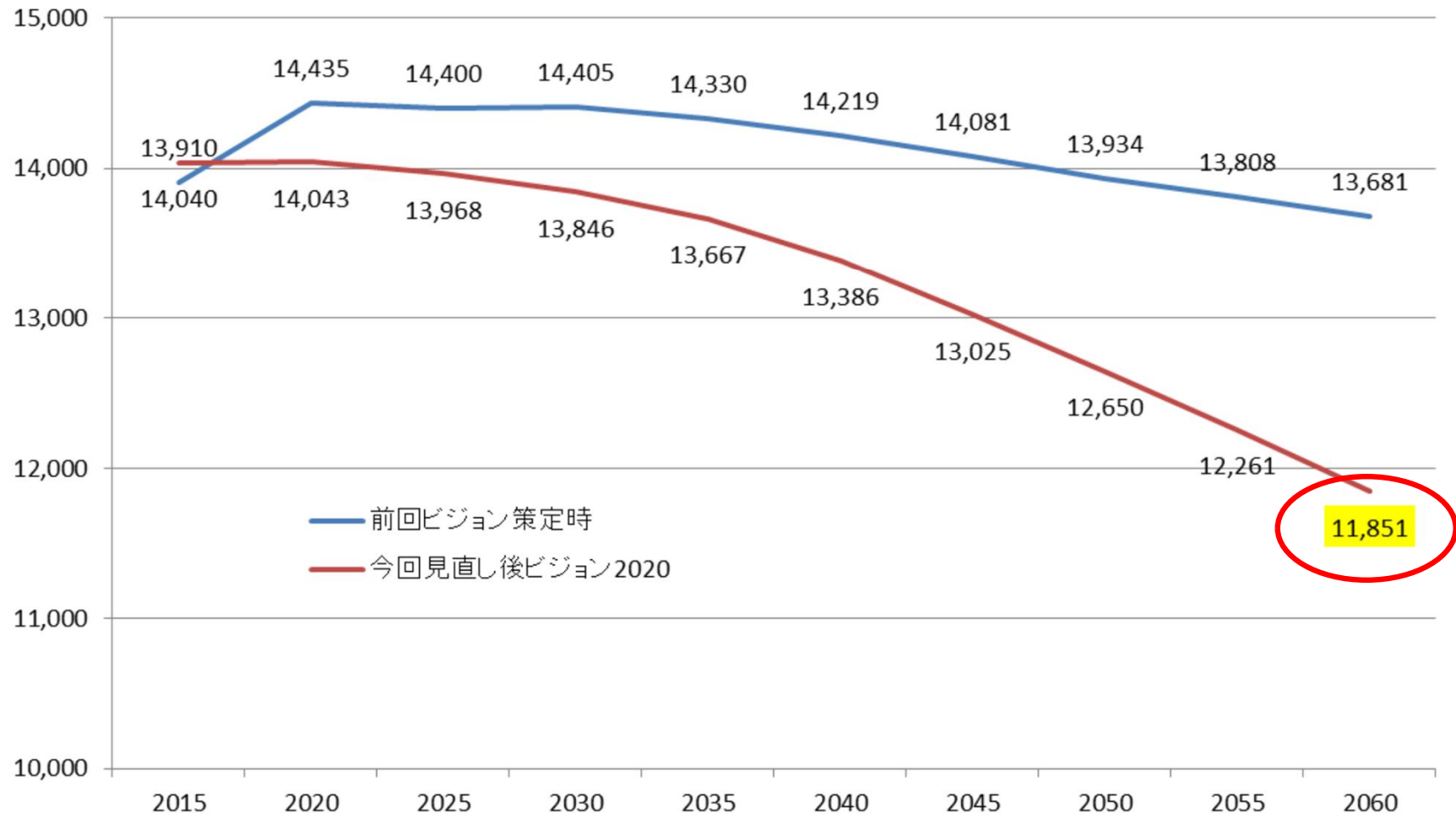
毎年度、施策の実施状況と効果検証を行い、施策が効果的に実施されるよう見直し等を行いながら推進していく。

**聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議**  
 [総合戦略の策定・推進、施策の実施状況(目標値(KPI)の達成状況)に係る検証等を実施]

各所属において、推進会議での意見等を踏まえ、確実に達成できるよう実施計画を定め、着実に実行

## 聖籠町 人口ビジョン2020

- 第2期総合戦略の策定にあたっては、下記の人口推計に基づき  
**2060年の目標人口設定を11,850人(≒11,851人)**とした。(聖籠町人口ビジョン2020)

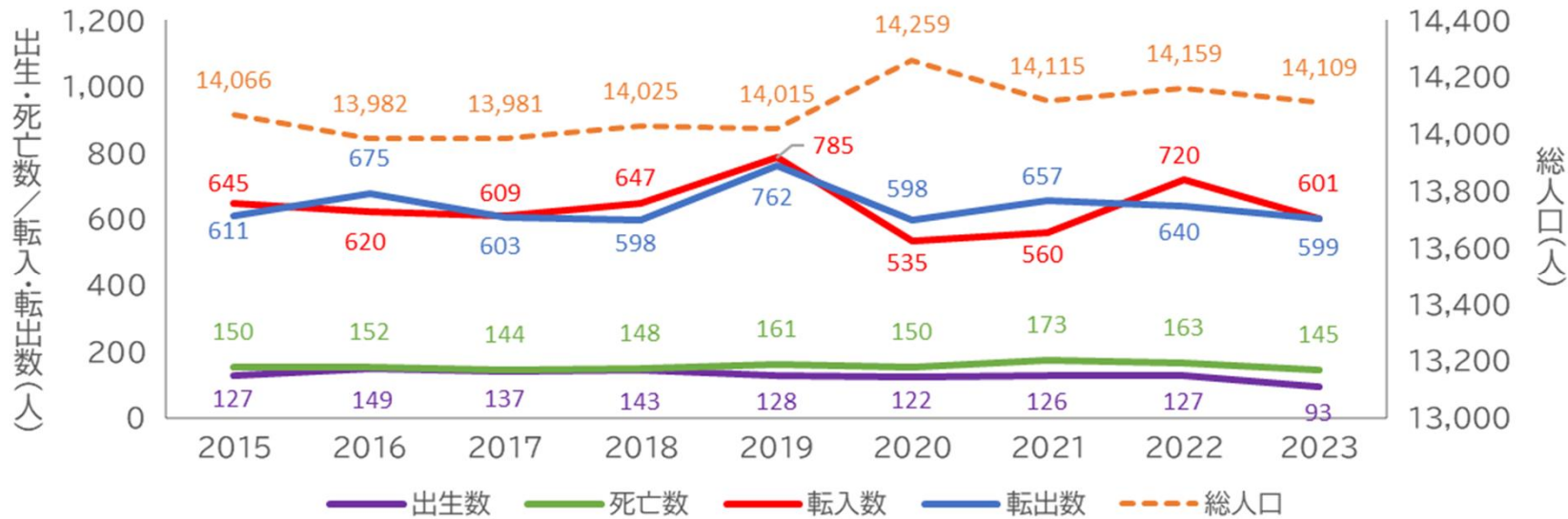


出典：「聖籠町 人口ビジョン2020 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」

# (1) 第2期総合戦略について ② 人口ビジョン及び人口動態

## 直近での人口動態(人口推移)

- 聖籠町の人口は近年横ばいの状況が続いています。
- 「自然動態」については、出生数と死亡数が均衡する状態が続いています。(2019年以降は自然減(死亡数>出生数)が拡大傾向)
- 「社会動態」については、社会増(転入数>転出数)、社会減(転入数<転出数)が年によって増減する状況が続いています。



	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
総人口	14,066	13,982	13,981	14,025	14,015	14,259	14,115	14,159	14,109
出生数	127	149	137	143	128	122	126	127	93
死亡数	150	152	144	148	161	150	173	163	145
自然動態	▲ 23	▲ 3	▲ 7	▲ 5	▲ 33	▲ 28	▲ 47	▲ 36	▲ 52
転入数	645	620	609	647	785	535	560	720	601
転出数	611	675	603	598	762	598	657	640	599
社会動態	34	▲ 55	6	49	23	▲ 63	▲ 97	80	2

出典:「新潟県人口移動調査結果報告」

※1:総人口は2015年、2020年は国勢調査人口、それ以外は国勢調査人口を基に、10月1日現在で算出した推計人口

※2:社会・自然動態は10月から9月までの動態(2023年であれば2022年10月~2023年9月)

**国**

**まち・ひと・しごと創生総合戦略(R2年度～R6年度)**

【基本目標】

- ① 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- ② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

【横断的目標】

- ① 多様な人材の活躍を推進する
- ② 新しい時代の流れを力にする

デジタル田園都市国家構想の実現に向け、  
**計画期間満了前に抜本的に改訂**

**デジタル田園都市国家構想総合戦略(R5年度～R9年度)**

【施策の方向】

■ **デジタルの力を活用した地方の社会課題解決**

- ① 地方に仕事をつくる
- ② ひとの流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 魅力的な地域をつくる

■ **デジタル実装の基礎条件整備**

- ① デジタル基盤の整備
- ② デジタル人材の育成・確保
- ③ 誰一人取り残されないための取組

**聖籠町**

**第2期総合戦略(R2年度～R6年度)**

【基本目標】

- (1) 地域資源を活かした魅力ある産業を形成する
- (2) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- (3) 住み続けたいまちをかたちづくる

**第3期総合戦略(R7年度～)**

**国の総合戦略を勘案し、策定する**  
(構成を含め、R6推進会議にて検討)

現行戦略の効果検証

次期戦略の検討

現状の把握

課題の整理

次期戦略の基本方針

- 将来人口の推計
- 町民アンケート、各種統計
- 評価指標の達成状況
- 他計画との調整  
(総合計画・経営戦略推進プラン)

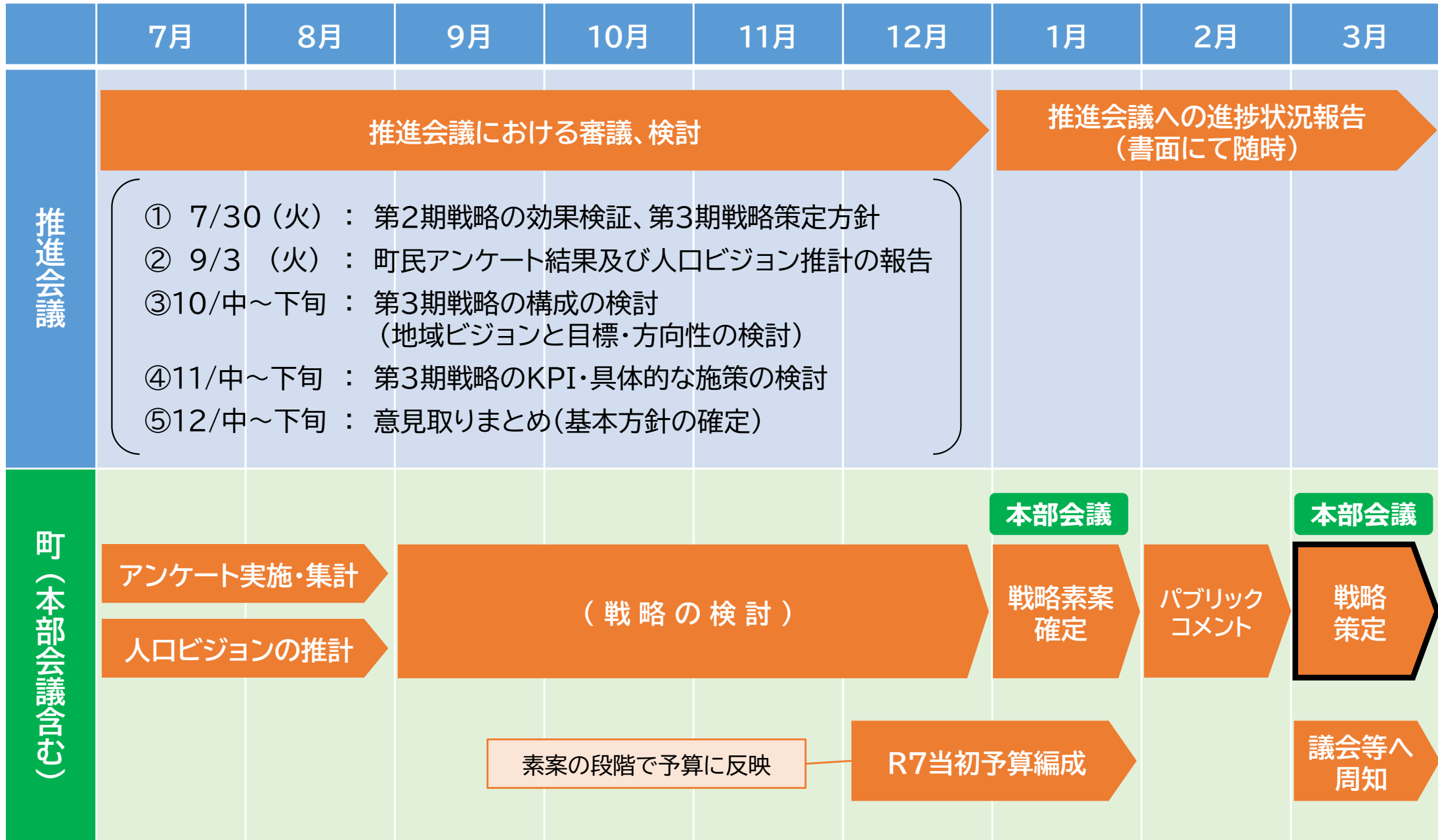
- 将来人口や各種統計等を踏まえた政策課題の整理
- 地域ビジョンの検討  
(地域が目指すべき理想像)
- 評価指標・事業の効果検証
- 社会情勢適合性の確認

- 人口ビジョンの見直し
- 地域ビジョンの再構築
- 目標・基本的方向  
(数値目標の設定)
- 具体的な施策  
(KPIの設定)

【 推進会議の役割 (委員の皆様へお願いしたいこと) 】

- ✓ 上記プロセスの各段階において、**広くご意見いただきたい。**
  - ✓ 推進会議においては、「**次期戦略の基本方針**」までをご審議いただきたい。
- ※推進会議での審議を踏まえ、町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部会議 (本部長:町長)により戦略を策定する。

## (2)第3期総合戦略について ② 策定スケジュール



## 人口ビジョン(目標人口)を踏まえた施策の検討

- 直近での人口の動向等を踏まえ、人口ビジョン(目標人口)の見直しを図り、**人口構成の変化(外国人住民の増加含む)や若者の町外への流出**等に対応する効果的な施策を検討する必要がある。

## 現行の総合戦略における課題(戦略全体に係る課題のみ)

- 直近の社会情勢、町民ニーズ、町政策等を踏まえた総合戦略スキームの見直し(**3つの基本目標でいいのか?**)
- 限りある経営資源を効率・効果的に活用するため**「選択と集中」を図る必要がある**。(経営戦略プランの理念と同)
- R4年度以降は地方創生関係の交付金を効果的に活用できていない。  
(=**地方創生を目的とした新規事業に取り組めていない**)

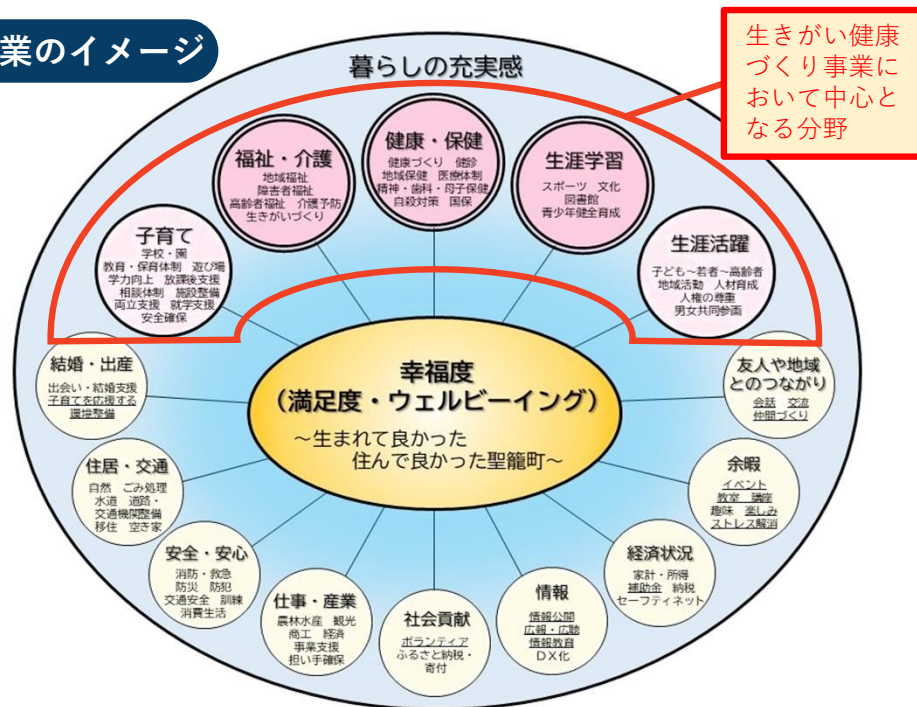
## デジタル化への対応

- 国のデジ田国家構想への対応(**時代の変化に応じたデジタル化**が実現できていないと、人口動態(特に社会動態)への悪影響も想定される)
- 現状では、各事業の課題や必要性に応じたデジタル活用を行っているが、戦略的な事業展開ができておらず、**デジタル化に対する町としての考え方**を整理する必要がある。

### 生きがい健康づくり事業の推進

- 町民の心と身体の健康づくり及び生きがいなど暮らしの充実感の創出に向けた総合的な事業を推進するものとして、R5年度より推進委員会を設置している。(R4年度に策定した経営戦略推進プランにおける「健康づくり支援戦略」に基づき実施する事業)
  - R6年度からの事業展開に向け、検討を進めているが、事業範囲が当初想定していた福祉部門のみならず、町の全事業との連携も想定される。
  - 継続的な事業展開を見据えると、数値目標(KPI)の設定が必要不可欠である。
- ⇒ 総合戦略への位置付けを検討  
 (地方創生交付金、既存スキーム(PDCAサイクル)の活用、地域幸福度(Well-Being)指標)

### 事業のイメージ



### 【進捗状況 ⇒ 今後の対応予定】

- ✓ 関係所属・団体が連携して事業を推進する体制を整備し、今後の事業展開について検討  
 ⇒ 第1段階として事業開始を町民に対して周知  
 ※第2段階として具体的な事業内容の周知を予定
- ✓ ライフステージごとに提供されている健康づくり関連サービスを洗い出し、過不足や課題の把握  
 ⇒ 既存事業見直し・新規事業化

策定の方向性

①健康づくりによる町民の幸福度向上 及び ②デジタル化への対応(デジ田対応) を総合戦略に落とし込む

【第2期の構成】

【次期の構成(案)】

人口減少の抑制・地域活性化

人口ビジョン

地域  
ビジョン

・総合計画の踏襲  
「生まれて良かった 住んで良かった 聖籠町」

・「生まれて良かった住んで良かった 聖籠町」の実現に向けて、様々な施策により暮らしの充実感を創出し、幸福度(満足度)を高めるものとして再構築

目標・  
基本的方向

数値目標

・3つの基本目標(しごとづくり、結婚・出産・子育て、まちづくり)

・健康づくり、デジタル化の落とし込み  
⇒3つの基本目標に溶け込み  
or  
⇒5つの基本目標

具体的な  
施策

KPI

・3つの基本目標に紐づく具体的な施策

・上位概念の達成に必要な施策を検討

【策定のポイント】

①地域幸福度(Well-Being) 指標の活用

- ・現状分析への活用
- ・指標設定への活用

②デジタル利活用に関する意識調査を実施

- ・町民を対象にWell-Being指標アンケートと併せて実施

※ 階層は総合戦略作成の手引き(国)による。

## 【参考】地域幸福度(Well-Being)指標について

- ✓ **客観指標**(オープンデータ)・**主観指標**(アンケート調査)により、  
市民の「暮らしやすさ」と「幸福度(Well-Being)」を数値化・可視化

※ 国(デジタル庁)において、当該指標の活用促進に関する検討会(R4～継続)が開催され、当該指標の活用がデジ田交付金(デジタル実装タイプType2・3)の採択条件とされていることなど、地方公共団体での利活用が推奨されている。

### 【地域における幸福度・生活満足度】

10又は5点  
満点表示

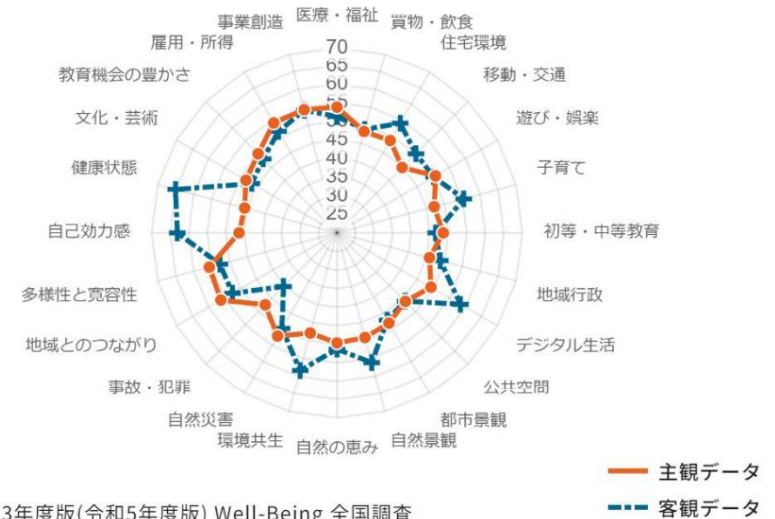
- Q1. 「現在、あなたはどの程度幸せですか？」(地域の幸福)
- Q2. 「あなたの町内(集落)の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？」(地域の幸福)
- Q3. 「自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う」(地域の幸福)
- Q4. 「住んでいる地域の暮らしに満足している」(生活満足度)
- 【オプション質問項目】
- Q5. 「今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか？」

Q5は、オプション追加質問として、実施は任意です

### 【まちに関する主観・客観評価】

偏差値表示

カテゴリー別



オレンジ色の線 = 主観評価、緑色の線 = 客観評価

### 活用のメリット

- ・ 市民視点の指標で、**生きがい健康づくり事業との親和性が極めて高い**(Well-Beingがベースとなっている)
- ・ **偏差値形式で他自治体との比較が可能**(個性を磨くきっかけ、特徴を捉えて施策へ反映)
- ・ 幸福度について網羅的に設計されており、**アンケートの設計作業が不用**(データは無料で利用可能)
- ・ **データに基づく政策立案・検証が可能**(政策効果の低い事業から高い事業への転換)



### 活用検討

- ✓ 従前から総合計画「生まれて良かった住んで良かった聖籠町」を掲げ、**町民の幸福度向上に取り組んできたこと**が、近隣自治体に比して**良好な人口動態で推移**していることの一因であると分析
- ✓ 今後さらに効果的に施策を展開していくためには、「**町民の幸福度**」を**数値で捉え、PDCAサイクルによる効果検証**を実施していくことが重要

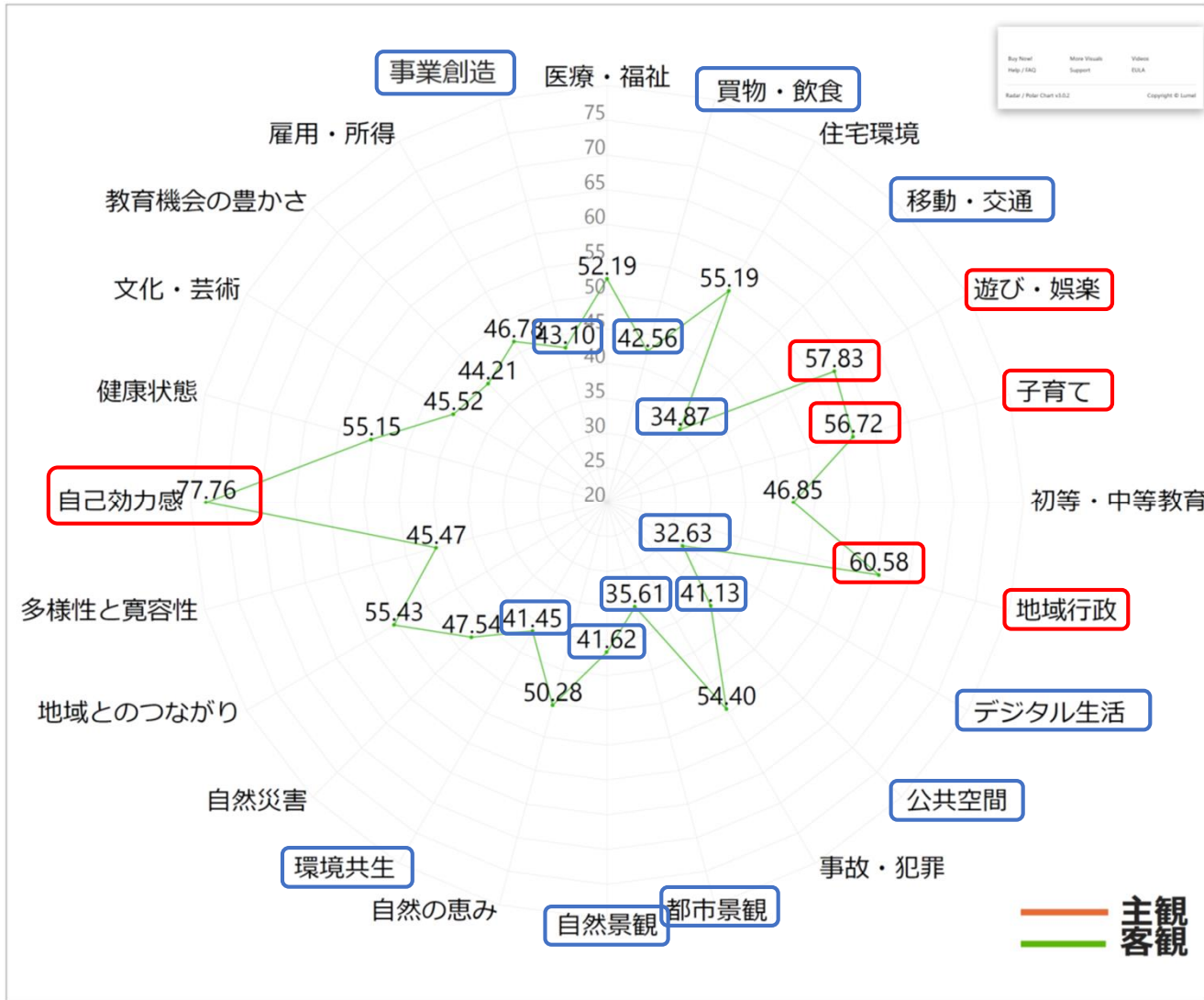
### 留意点

- ・ 主観データが不足しているため、**自治体対応で追加アンケートが必要**となる。  
※ モニターによるインターネット調査のため、小規模自治体では回答数が0となる場合がある。  
したがって、初回のみでなく2回目以降も自治体での追加アンケート対応が必要となる。

# 【参考】地域幸福度(Well-Being)指標について

## 【 聖 籠 町 】

※客観データのみ(2024年3月時点)



- 【強み】**
- 自己効力感
    - ・町長選・町議選の投票率が良好
  - 地域行政
    - ・公共サービス(体育館等)が充実している
    - ・財政指数が良好である
  - 遊び・娯楽
    - ・娯楽業(経済センサス)事業所数多い
    - スポーツ施設も含まれることが影響?
  - 子育て
    - ・子育て支援施設へのアクセス、規模適切

- 【課題】**
- デジタル生活
    - ・行政によるデジタル利活用進んでいない。
  - 移動・交通
    - ・公共交通機関へのアクセスが悪い。
  - 都市・自然景観／環境共生／公共空間
    - ・景観、環境、公共空間施策が進んでいない。
  - 買物・飲食
    - ・商業施設・飲食店が少ない。
  - 事業創造
    - ・スタートアップ振興の環境が整っていない。

出典：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度(Well-Being)指標」

## 主観（ウェルビーイング）評価指標 ～ 全50問

### 地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？

- 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う

#### 生活環境（16）

##### 医療・福祉（2）

- 医療機関が充実している（利便性）
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

##### 買物・飲食（2）

- 日常の買い物に全く不便がない（利便性）
- 飲食を楽しめる場所が充実している

##### 住宅環境（3）

- 自宅には、心地よい居場所がある（居住空間）
- 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている（秩序）
- 適度な費用で住居を確保できる

##### 移動・交通（1）

- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

##### 遊び・娯楽（1）

- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

##### 子育て（2）

- 子育て支援・補助が手厚い
- 子どもたちがいきいきと暮らせる

##### 初等・中等教育（2）

- 教育環境（小中高校）が整っている
- 通学しやすい場所に学校がある

##### 地域行政（2）

- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている（地域行政）（社会関係資本）
- 公共施設は使い勝手良く便利である（利便性）

##### デジタル生活（2）

- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

##### 公共空間（2）

- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい（相性）
- まちなか、公園、川浴い等で、心地よく歩ける場所がある

##### 都市景観（1）

- 自慢できる都市景観がある

##### 自然景観（1）

- 自慢できる自然景観がある

##### 自然の恵み（2）

- 身近に自然を感じることができる（自然）
- 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる（自然）

##### 環境共生（1）

- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

##### 自然災害（1）

- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。

##### 事故・犯罪（2）

- 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されていて安心である

#### 地域の人間関係（2）

##### 地域とのつながり（5）

- 私は同じ町内に住む人々を信頼している（社会関係資本）
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである（社会関係資本）
- 困ったときに相談できる人が身近にいる（つながり・感謝）（社会関係資本）
- 町内の人が困っていたら手助けする（向社会的行動）
- このまちに愛着を持っている（一体感）

##### 多様性と寛容性（5）

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある（異質性・多様性）
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する（異質性・多様性）（過干渉・不寛容）
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる（一体感）（過干渉・不寛容）
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

#### 自分らしい生き方（6）

##### 自己効力感（1）

- 自分のことを好ましく感じる（一体感）

##### 健康状態（2）

- 身体的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）
- 精神的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）

##### 文化・芸術（2）

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい（ダイナミズム・誇り）
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい（多世代共創）

##### 教育機会の豊かさ（1）

- 学びたいことを学べる機会がある

##### 雇用・所得（2）

- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

##### 事業創造（1）

- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある（ダイナミズム・誇り）（モチベーション）

## 市区町村版 暮らしやすさ客観指標のカタログ

指数を構成するKPIは次ページを参照  
 \*各都道府県・市区町村HP等から取得  
 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

### 生活環境 (16)

#### 医療・福祉

- 医療施設徒歩圏人口カバー率
- 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり国保医療費 (-)
- 人口あたり後期高齢者医療費 (-)
- 特定健康診断受診率
- 福祉施設徒歩圏人口カバー率
- 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり児童福祉施設数
- 人口あたり障害者施設支援数
- 人口あたり認知症サポーター・サポーター数

#### 買物・飲食

- 商業施設徒歩圏人口カバー率
- 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 可住地面積あたりの飲食店数
- 人口あたり飲食店数

#### 住宅環境

- 住宅あたり延べ面積
- 平均価格(住宅地) (-)
- 専用住宅1m<sup>2</sup>あたり家賃 (-)
- 一戸建の持ち家の割合

#### 移動・交通

- 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率
- 駅およびバス停徒歩圏人口密度 (-)
- 人口あたり小型車走行キロ (-)
- 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合
- 職場までの平均通勤時間 (-)

#### 遊び・娯楽

- 人口あたりの娯楽業(映画館、劇場、スポーツ施設等)の事業所数

#### 子育て

- 保育所まで1km未満の住宅割合
- 可住地面積あたり幼稚園数
- 施設あたり幼稚園児数 (-)
- 人口あたり待機児童数 (-)
- 歳出総額における教育費の構成比
- 合計特殊出生率

#### 初等・中等教育

- 可住地面積あたり小学校数
- 可住地面積あたり中学校数
- 可住地面積あたり高等学校数
- 施設あたり小学生数 (-)
- 施設あたり中学生数 (-)
- 施設あたり高校生数 (-)

#### 地域行政

- 人口あたり体育施設利用者数
- 人口あたり図書館帯出者数
- 人口あたり博物館入館者数
- 地域財政指数

#### デジタル生活

- 自治体DX指数
- デジタル政策指数
- デジタル生活指数

#### 公共空間

- 公園緑地徒歩圏人口カバー率
- 人口あたり公園の面積
- 歩道設置率
- ウォーカブル指数

#### 都市景観

- 都市景観指数

#### 自然景観

- 自然景観指数

#### 自然の恵み

- 食料生産ポテンシャル
- 水供給ポテンシャル
- 木材供給ポテンシャル
- 炭素吸収量
- 蒸発散量
- 地下水涵養量
- 土壌流出防止量
- 窒素除去量
- リン酸除去量
- NO<sub>2</sub>吸収量
- SO<sub>2</sub>吸収量
- 洪水調整量
- 表層崩壊からの安全率
- 緑地へのアクセス度
- 水域へのアクセス度
- オートキャンプ場への立地

#### 環境共生

- NO<sub>x</sub>平均値 (-)
- PM<sub>2.5</sub>年平均値 (-)
- ゴミのリサイクル率
- 人口あたり年間CO<sub>2</sub>排出量 (-)
- 人口あたり再生エネルギー発電量
- 環境政策指数

#### 自然災害

- 外水氾濫危険度
- 高潮危険度
- 土砂災害危険度
- 地震動危険度
- 津波危険度
- ハード対策
- 避難・救助
- 要配慮者支援
- 防災教育
- 防災まちづくり
- 情報・デジタル防災

#### 事故・犯罪

- 人口あたり交通事故件数\* (-)
- 人口あたり刑法犯認知件数\* (-)
- 空家率 (-)

指数を構成するKPIはP14~15を参照  
 \*各都道府県・市区町村HP等から取得  
 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

## 市区町村版 暮らしやすさ客観指標のカタログ

指数を構成するKPIは次ページを参照  
 \*各都道府県・市区町村HP等から取得  
 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

### 地域の間関係 (2)

#### 地域とのつながり

- 人口あたり自殺者数 (-)
- 拡大家族世帯割合
- 既婚者の割合
- 高齢単身世帯の割合 (-)
- 居住期間が20年以上の人口の割合
- 祭り開催数
- 自治会・町内会加入率\*
- 人口あたり政治団体等の数
- 人口あたり宗教の事業所数
- 人口あたりNPOの数
- 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数
- 関係人口創出活動指数

#### 多様性と寛容性

- 議会における女性議員の割合
- 自治体の管理職職員における女性の割合
- 自治体職員における障害者の割合
- 人口あたり外国人人口
- 多様性政策指数

### 自分らしい生き方 (6)

#### 自己効力感

- 首長選挙投票率
- 市区町村議会選挙の投票率

#### 健康状態

- 健康寿命 (平均自立期間) (男性)
- 健康寿命 (平均自立期間) (女性)

#### 文化・芸術

- 芸術家・著述家等の割合
- 国宝・重要文化財 (建造物) の数
- 日本遺産の数

#### 教育機会の豊かさ

- 大卒・院卒者の割合
- 可住地面積あたり大学・短期大学の数
- 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数
- 人口あたり生涯学習講座数
- 人口あたり生涯学習講座受講者数
- 人口あたり青少年教育施設利用者数
- 人口あたり女性教育施設利用者数

#### 雇用・所得

- 完全失業率 (-)
- 若年層完全失業率 (-)
- 正規雇用者比率
- 高齢者有業率
- 高卒者進路未定者率 (-)
- 市区町村内で従業している者の割合
- 創業比率
- 納税者あたり課税対象所得

#### 事業創造

- クリエイティブ産業事業所の構成比
- 新規設立法人の割合
- 従業者数あたりコワーキングスペースの数
- 大学発ベンチャー企業数

## 市区町村版 暮らしやすさの客観指標で「指数」を構成するKPI内訳

- 「〇〇指数」は、構成する項目（施策・施設など）が「有り」の場合に1点、「無し」は0点とし、全項目の合計を算出。
- 自治体DX指数は、構成するカテゴリー（「自治体DXの推進体制等」、「行政サービスの向上・高度化」等）ごとの点数の平均値の合計。

### ■ 地域財政指数

- ・ 財政力指数
- ・ 経常収支比率
- ・ 実質公債費比率
- ・ 将来負担比率

### ■ 自治体DX指数

- ・ 自治体DXの推進体制等
  - ・ CIO任命の有無（及び外部デジタル人材任用の有無）
  - ・ CIO補佐官任命の有無（及び外部デジタル人材任用の有無）
  - ・ DXを推進するための全体方針策定の有無
  - ・ DXを推進するための全庁的・横断的な推進体制構築の有無
  - ・ DX推進専任部署設置の有無
  - ・ DXを推進するための外部デジタル人材任用の有無
  - ・ DX・情報化を推進するために行っている職員の育成の取組の有無
- ・ 行政サービスの向上・高度化
  - ・ 申請・届出等手続のオンライン化計画・オンライン利用促進計画策定の有無
  - ・ 申請・届出等手続をオンライン化するための通則条例制定の有無
  - ・ e-文書条例制定の有無
  - ・ 申請・届出等手続をオンライン化するためのシステム導入の有無
  - ・ コンビニにおける証明書等の交付等の有無

- ・ 市民視点の指標の策定の有無
- ・ 指標に基づいた市民満足度測定の有無
- ・ 各システムの電子決裁機能の有無
- ・ 災害時の被災者情報管理業務システム整備の有無
- ・ 統合型GIS導入の有無
- ・ 業務・システムの効率化
  - ・ 「地域情報プラットフォーム標準仕様」に準拠した製品の導入状況
  - ・ 情報システムの調達実績の有無
- ・ 情報セキュリティ対策の実施状況
  - ・ CISO任命の有無（及び外部デジタル人材任用の有無）
  - ・ 緊急時対応計画の策定の有無
  - ・ 情報システムに関する業務継続計画策定の有無
- ・ デジタルデバйд対策
  - ・ デジタルデバйд対策実施の有無

### ■ デジタル政策指数

- ・ 国土交通省Plateauの対象都市
- ・ 地方版IoT推進ラボの有無
- ・ 自治体によるオープンデータの有無
- ・ ローカル5G開発実証事業の採択の有無
- ・ スマートシティ合同審査の結果
- ・ 令和4年度デジ田交付金（type2/3）への採択
- ・ マイナンバーカード普及率
- ・ 国勢調査ネット回答率
- ・ 共創モデル実証プロジェクト
- ・ Digi田甲子園採択自治体
- ・ デジタル田園都市国家構想採択自治体

### ■ デジタル生活指数

- ・ Code forの団体の有無
- ・ ファブラボの有無
- ・ CoderDojoの有無
- ・ 大学のICT関連学部の有無
- ・ 高等専門学校の有無
- ・ 10万人あたり通信キャリア店舗数

### ■ ウォーカブル指数

- ・ ウォーカブル推進都市
- ・ （ウォーカブル推進都市のうち）滞在快適性等向上区域を設定している自治体
- ・ 「地方版自転車活用推進計画」の有無

### ■ 都市景観指数

- ・ 「都市景観大賞」受賞の市区町村
- ・ 景観条例の有無
- ・ 景観重要建造物の有無
- ・ 景観協定の有無

### ■ 自然景観指数

- ・ 国立・国定公園の有無
- ・ 「美しい日本のむら景観百選一覧」
- ・ 景観重要樹木の有無
- ・ 重要文化的景観

## 市区町村版 暮らしやすさの客観指標で「指数」を構成するKPI内訳

- 「〇〇指数」は、構成する項目（施策・施設など）が「有り」の場合に1点、「無し」は0点とし、全項目の合計を算出。
- 自治体DX指数は、構成するカテゴリー（「自治体DXの推進体制等」、「行政サービスの向上・高度化」等）ごとの点数の平均値の合計。

### ■ 環境政策指数

- ・ SDGs未来都市
- ・ 2050年ゼロカーボンシティ
- ・ 気候変動イニシアティブへの参加
- ・ 「地域循環共生圏実践地域」活動団体
- ・ 脱炭素先行地域
- ・ ゼロカーボンパーク

### ■ 多様性政策指数

- ・ パートナーシップ宣誓制度の有無
- ・ 性の多様性に関する条例の有無
- ・ 障害差別解消に関する条例の有無
- ・ 子どもに関する条例の有無
- ・ バリアフリー基本構想の有無
- ・ 男女共同参画条例・ジェンダー平等条例

### ■ 関係人口創出活動指数

- ・ 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの数
- ・ 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの発信可能者数
- ・ 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの関心度